

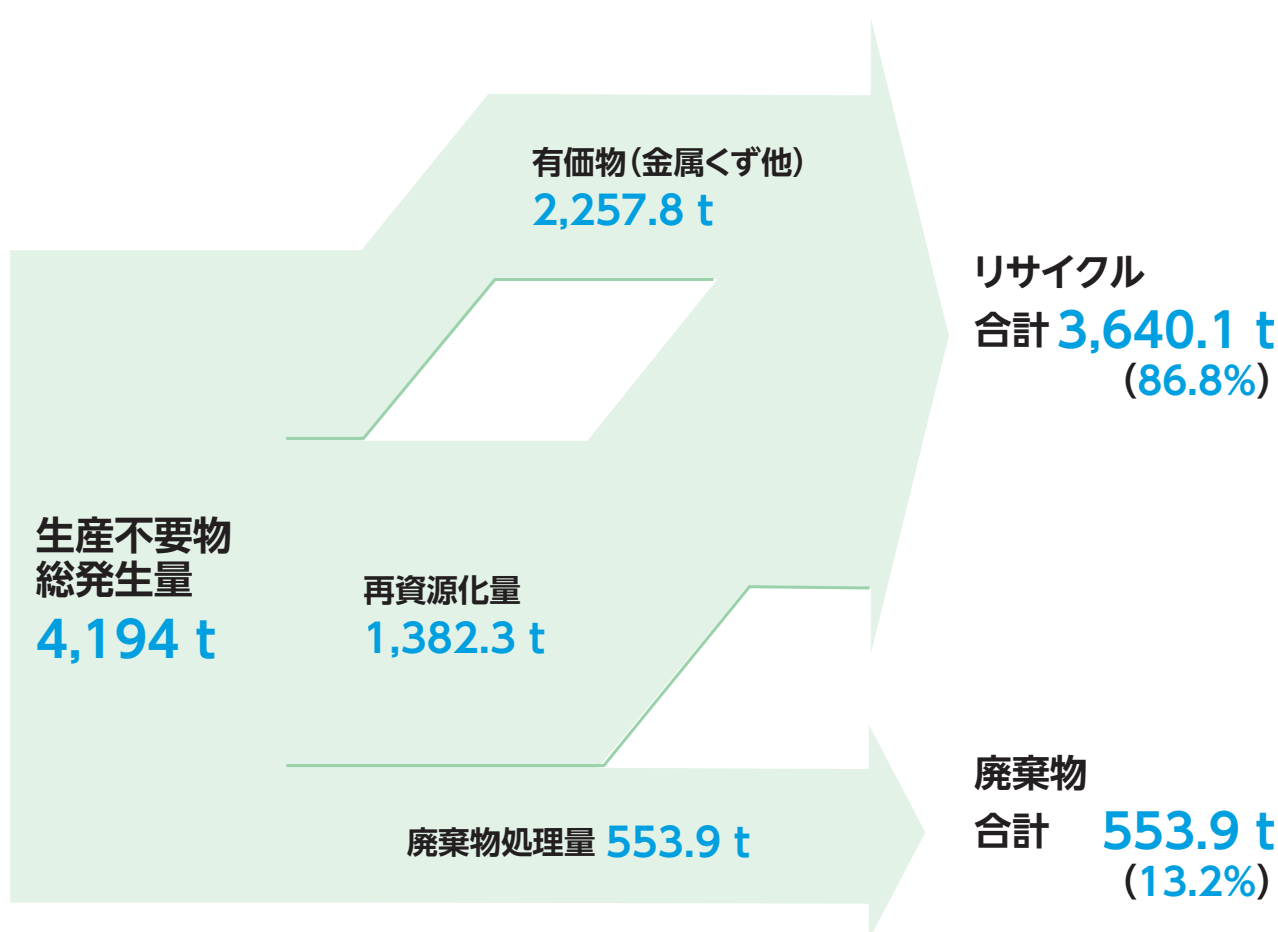
生産不要物の削減の取り組み

IPSの生産不要物のリサイクル目標は、年度ごとにゼロエミッションを達成するとして、リサイクル活動を継続して来ました。ゼロエミッションの定義としては「産業廃棄物と有価物の合計重量比99%以上とする」としています。残り1%は最終処分場へ埋め立てされる重量割合を示しますが、本活動においてこれを完全に0にすることは多大な費用やCO₂が消費され、環境への影響はかえってマイナスになることが予想されます。従ってIPSと

しては、第1ステップとして、現実的な取り組みの中で達成に努めてきました。

2021年度は、相生事業所とニコ精密機器株式会社で目標を達成しました。太田工場はわずかに目標に届きませんでした。その他の工場でも目標は達成できなかったが、前年度と比べて改善傾向です。引き続きリサイクルの方法を検討しています。

「全工場」における生産不要物バランス図（一般廃棄物も含む）



注) 生産不要物=産業廃棄物+有価物+一般廃棄物